

科目名称	リノベーション総合実習		授業コード	20018111	
担当教員	川北 健雄	今津 康夫、今津 修平			
単位数	5	授業形態	実習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	建築士				

授業実施方法	対面授業（ただし、一部遠隔で実施する場合がある）
使用するアプリ等	KDU ポータル（連絡、資料提供、課題提出等）と Stream（動画配信）、Teams（または Zoom）（リアルタイム会議）。
履修制限等	E 生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築のリノベーションに関する具体的な知識と設計手法を身につけるとともに、それを通して、建築と都市や地域社会との関係を考慮したプログラムやデザインを組み立てる構想力も養う。 <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リノベーションを行うにあたってのコンセプトを立案できる。 ・ コンセプトに沿った改修デザインの提案内容を図面や模型を通して表現し、口頭でも説明できる。
授業計画の概要	建築物のリノベーションの専門性を踏まえた調査・分析、計画・設計の学習を深めるとともに、卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。
授業計画	<p>A 課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：リノベーションの対象建物の見学、周辺地域の観察 2：不動産事業的視点と参考事例の紹介 3：対象建物と周辺地域の特性の分析 4：デザインの基本方針の検討 5：企画提案講評会 6：デザインの具体化 7：詳細デザインの検討 8：中間講評会 9：実施設計についての学習 10：基本的な設計図（平面・立面・断面図）の作成 11：各種詳細図の作成 12：模型の作成 13：講評会 <p>B 課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 14：課題説明 15：プレゼンテーションと講評
実務経験のある教員	すべての担当教員は、建築設計事務所での実務経験を有している。この授業では、特にリノベーション関連のプロジェクトに従事することによって得られた知識と技能を生かした、実践的な指導を行う。
授業時間外学習	授業ごとのエスキスや講評で教員から指摘やアドバイスされたことがらを十分に咀嚼し、自分のデザインを修正・発展させたいうえで次回の授業に望むこと。
評価方法	各課題の提出内容と、講評会での発表内容を採点して評価する。最終提出物が決められた期限内に提出されない場合には、単位取得ができなくなるので締切を厳守すること。
指導方法	各授業でのエスキス、途中および最終の講評会などでのコメントによって行う。
使用テキスト	プリントを適宜配布し、特定のテキストは使用しない。
参考テキスト・URL	<p>『リノベーションの教科書』小池・宮部・花田・川北・山之内・森 学芸出版社</p> <p>『建築設計資料集成 [総合編]』日本建築学会編丸善</p> <p>『コンパクト建築設計資料集成』日本建築学会編丸善</p> <p>『コンパクト建築設計資料集成<住居>』日本建築学会編丸善</p> <p>その他の参考資料については、随時指定、配布する。</p>
各自準備物	ノートパソコン、スケッチブック、製図用具、製図用紙、模型材料など
実習費	
その他	「リノベーション総合実習」、「建築総合実習」、「ランドスケープ総合実習」、「まちづくり総合実習」のいずれかを選択すること。

科目名称	建築総合実習		授業コード	20012324	
担当教員	藤山 哲朗	萬田 隆、今津 康夫、今津 修平、前田 信彦、担当未定（教員）			
単位数	5	授業形態	実習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	建築士				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	
履修制限等	E生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p><授業の目的> 広い視野の下に都市や地域社会との関係を考慮したプログラムとデザインを組み立てる能力を身につける。</p> <p><到達目標> 敷地の都市的コンテクストを読解し、現代社会に要求される複合的な建築プログラムを構想できる。 構造や素材、建築論など建築の内発的なデザイン原理を探究する。 計画案を適切な図面・模型でプレゼンテーションできる。</p>
授業計画の概要	建築の専門性を踏まえた調査・分析、計画・設計の学習を深めるとともに、卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。
授業計画	<p>A 課題 神戸市内の敷地を対象とし、都市構造の分析を基に、現代的な建築プログラムを体現する「新たな建築物」を提案する。 1：課題条件分析、対象エリアの選定 2：フィールドワーク 3：対象エリアの問題分析 4：対象エリアに対するビジョン及び提案プログラムの計画 5：基本方針発表会 6：建築デザインにおける基本計画 7：中間講評 8：配置・平面計画 9：断面・立面計画 10：詳細計画 11：設計図書作成 12：プレゼンテーション作業 13：講評会</p> <p>B 課題 14：課題説明 15：プレゼンテーションと講評</p>
実務経験のある教員	建築家（建築士・エンジニア）である担当教員が、自身の実務設計の経験をふまえ、デザインの各段階における目標設定、建築技術的なアドバイス、適切な設計図書の作成方法を指導する。
授業時間外学習	実習作業のステップごとに、教員の指導を受け、次回授業までに改善、発展させること。
評価方法	各課題の提出内容と講評会での発表内容を採点して評価する。A 課題・B 課題ともが決められた期限内に提出されない場合には、単位取得ができなくなるので、締切を厳守すること。
指導方法	各回エスキース指導。各フェーズ毎の全体講評会にてコメント。
使用テキスト	
参考テキスト・URL	『建築設計資料集成 [総合編]』日本建築学会編丸善 『コンパクト建築設計資料集成』日本建築学会編丸善 その他の参考資料については、随時指定、配布する。
各自準備物	
実習費	図面用紙・模型材料費、学外見学にかかる交通費・入館料は各自負担。
その他	「リノベーション総合実習」、「建築総合実習」、「ランドスケープ総合実習」、「まちづくり総合実習」のいずれかを選択すること。

科目名称	ランドスケープ総合実習		授業コード	20012325	
担当教員	長濱 伸貴	松下 岳生			
単位数	5	授業形態	実習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	建築士				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	
履修制限等	E生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p><授業の目的> ランドスケープにおける総合的なデザイン実習である。</p> <p><到達目標> 広い視野の下に都市や地域社会との関係を考慮したプログラムとデザインを組み立てる能力を身につける。</p>
授業計画の概要	ランドスケーププランニング及びランドスケープデザインの専門性を踏まえた調査・分析、計画・設計の学習を深めるとともに、卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。
授業計画	<p>A 課題 神戸の中心市街地を対象とし、都市構造の分析や地域資源の調査をもとに、都市の改善に寄与するパブリックスペースのデザインや都市空間再編のデザインを提案する。 1：課題説明、神戸市の都市再生についての解説 2：フィールドワーク（現地調査） 3：対象地域のリサーチ（調査・分析、課題の抽出） 4：対象敷地のリサーチ（調査・分析、課題の抽出） 5：リサーチ発表会 6：ランドスケーププランニングの検討 7：ランドスケープデザインの素案検討 8：中間講評会（基本構想発表会） 9：マスタープラン、セクションプラン検討 10：ディテールデザイン検討 11：ダイアグラム、模型、パース作成 12：デザイン提案書作成、プレゼンテーション作業 13：最終講評会</p> <p>B 課題 14：課題説明 15：プレゼンテーションと講評</p>
実務経験のある教員	アーバンデザイン、ランドスケープデザインの実務経験のある教員によるプロジェクトレベル（実施レベル）の実践的なランドスケープ設計実習である。
授業時間外学習	実習作業のステップごとに、教員のチェックを受け、次回に向けた学習内容の指導を仰ぐこと。
評価方法	各課題の提出内容と講評会での発表内容を採点して評価する。提出物が決められた期限内に提出されない場合には、単位取得ができなくなるので、締切を厳守すること。
指導方法	各回のエスキス指導。講評会などでのコメントによって行う。
使用テキスト	
参考テキスト・URL	『建築設計資料集成 [総合編]』日本建築学会編 丸善 『建築設計資料集成 [地域・都市Ⅰ-プロジェクト編]』日本建築学会編 丸善 『建築設計資料集成 [地域・都市Ⅱ-設計データ編]』日本建築学会編 丸善 『コンパクト建築設計資料集成 [都市再生]』日本建築学会編 丸善 その他の参考資料については、随時指定、配布する。
各自準備物	
実習費	
その他	「リノベーション総合実習」、「建築総合実習」、「ランドスケープ総合実習」、「まちづくり総合実習」のいずれかを選択すること。「ランドスケープ総合実習」と「まちづくり総合実習」は、A課題を共同で実施する。

科目名称	まちづくり総合実習		授業コード	20012326	
担当教員	小浦 久子	深川 礼子、担当未定（教員）			
単位数	5	授業形態	実習	科目分類	選択必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	建築士				

授業実施方法	対面（状況に応じて遠隔リアルタイムを行うこともある）
使用するアプリ等	（遠隔の場合は、Office365 Teams、Stream など）
履修制限等	E 生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	<p><授業の目的> 都市環境におけるパブリックスペース・建築・ランドスケープをつなぐ総合的なデザイン実習である。</p> <p><到達目標> リサーチによる地域分析および分析にもとづく地域の課題への気づきができるようになる 広い視野の下に都市や地域社会との関係を考慮した空間プログラムとデザインを組み立てる能力を身につける。</p>
授業計画の概要	<p>フィールドワークによる地域の調査・分析にもとづき、アーバンデザインの観点から対象地域の課題設定を行う。リサーチから得られた地域課題の解決に向けてのプログラムを検討し、空間デザイン・コンセプトを構想する。こうしたリサーチからのプランニングのプロセスを学び、地域課題に対するコンセプトを具体化する空間デザインを提案する。</p> <p>計画・設計の学習を深めるとともに、卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。</p>
授業計画	<p>A 課題 都市構造の分析や地域資源の調査をもとに、都市環境の改善に寄与するパブリックスペースのデザインや都市空間再編のデザインを提案する 1：課題説明、リサーチの対象地についての解説 2：フィールドワーク（現地調査） 3：対象地域のリサーチ（調査・分析、課題の抽出） 4：対象敷地のリサーチ（調査・分析、課題の抽出）とリサーチ結果の発表講評 5：都市空間のプランニング・コンセプトの検討 6：都市空間のプランニングから空間デザイン素案の検討・構想講評会 7：空間デザインの構想検討 8：空間デザインの構成検討：スタディ模型・平面配置図・断面図 9：中間講評会 10：空間デザイン検討、平面図・断面図・立面図、スタディ模型 11：空間デザイン検討、平面図・断面図・立面図、模型の作成 12：デザイン提案書作成・プレゼンテーション作業 13：最終講評会</p> <p>B 課題 14：課題説明 15：プレゼンテーションと講評</p>
実務経験のある教員	建築家・プランナーとしての実務経験を活かし、リサーチとデザインをつなぐ設計アプローチの可能性を広げる実践的な実習である。
授業時間外学習	実習作業のステップごとに、教員のチェックを受け、指導を仰ぐこと。
評価方法	各課題の提出内容と、講評会での発表内容を採点して評価する。 最終提出物が決められた期限内に提出されない場合には、単位取得ができなくなるので締切を厳守すること。
指導方法	各回のエスキス指導。講評会などでのコメントによって行う。
使用テキスト	
参考テキスト・URL	『建築設計資料集成地域・都市Ⅰ』日本建築学会編丸善 『建築設計資料集成地域・都市Ⅱ』日本建築学会編丸善 『コンパクト建築設計資料集成（都市再生）』日本建築学会編丸善 その他の参考資料については、随時指定、配布する。
各自準備物	
実習費	
その他	「リノベーション総合実習」、「建築総合実習」、「ランドスケープ総合実習」、「まちづくり総合実習」のいずれかを選択すること。「まちづくり総合実習」と「ランドスケープ総合実習」は、A 課題を共同で実施する。